

# 大安寺報

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職：長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地  
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426  
E-mail info@daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

八木重吉(詩人)

月にてらされると  
ひとりでに遊びたくなってくる  
そっと涙をながしたり  
にこにこしたりしておどりたくなる

秋は月の美しい季節です。特に、来る十月四日は「中秋の名月」が美しく夜空に輝くことでしょう。ススキを飾って、お団子や秋の実りをお供えしてお月見をされる方も多いはずです。

月というものは、山の影に隠れている時は見えず、また、日中は太陽の光が強いため、その姿をはっきりとは見せません。しかし、夜になると山の影から顔を出し、ひそやかに私たちの足元を照らしてくれくれます。それはさながら、亡き方が優しく私たちを見守ってくれ、また導いてくださっているようです。

冒頭の詩には、月の光で照らされることによって、不安な心がほだけ、自分自身の喜怒哀楽の心に対して素直になる様子が描かれています。月は無条件で、分け隔てなく私たちを照らしてくれる存在です。それは、まさに、衆生(生きとし生けるもの)をあまねく照らしてください。年回法要の際にお唱えしている回向

という文章には以下のような意味があります。

み仏の光はあまねくいきわたり、み教えは世界を包み照らす。かえり来たって世間を觀れば、うつろいながれること夢の如し。(中略)伏して願わくは、無常なる生死の流れにありても、貴き宝、大海原にきらめき、さどりの岸にありても、月、天空に輝く如くに、あまねく世間を導いて、同じくさどりの道をのぼらんことを。

この回向で大事なものは、「同じくさどりの道をのぼらんことを」の部分です。み仏を指す亡き方だけではなく、家族縁者もまた、共におさどりの道を目指すというのがその趣旨なのです。

夜空に浮かぶ月はおさどりの象徴でもあります。亡き方がほとけさまのおさとりと一体になることを願いながら、自らもまた同じ目標を目指す…。それが望ましい供養のあり方なのです。 合掌



## 仏事

### Q & A

第三十二回

Q、納骨の際、二つの餅を二組の人が片手でひきちぎって、お墓を背にして後ろ向きで投げるのは何故ですか？

A、葬儀の際の習俗の一つです。「兄弟餅」もしくは「引つ張り餅」といわれ、「食い別れ」や「墓に群がってくる餓鬼(霊鬼)に振る舞う」という意味があるようです。

Q、枕飾りの一つである「シカバナ」(白い紙を細長く切り、細かく横の刻み目を入れ、細長い棒に巻き付けたもの)にはどのような由来や意味があるのですか？

A、お釈迦さまが亡くなられた(入滅された)際、周囲の沙羅双樹が悲しみのあまり白色に変じたことに由来しています。また、亡き人の魂を導く依り代ともされます。

大安寺の最新情報はこちらでご覧ください。

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>



@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。



<http://www.facebook.com/daijanji>

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師  
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏(なむしゃかむにぶつ)